

今年をふりかえり、これからを考える



2学期も残すところ、あと少しになりました。明日からは学期末の懇談会が始まります。保護者の方と担任の先生とともに2学期をふりかえり、自分の成長をしっかりと確認してください。そして3年生は、いよいよ進路を決定する時期になりました。自分で「この道に進むぞ!」と決めて、一歩を踏み出してほしいと思います。

さて、先週12日(金)には、日本漢字能力検定協会が毎年発表している「今年の漢字」が発表されました。今年1年の世の中の様子を表す漢字一文字が選ばれます。今年は「熊」でした。全国各地で熊による被害が相次ぎ、市街地にまで出没するなど、私たちの生活や経済活動にも大きな影響を与えています。この出来事は、人と自然との共存について考えるきっかけにもなりました。

みなさんは、自分の今年1年を表す漢字を選ぶとしたら、どんな漢字になるでしょうか。ぜひ、友だちとも話題にしてみてください。

さて、先週10日(水)、オーストラリアで16歳未満の子どもによるSNS利用を制限する法律が施行されました。フェイスブックやインスタグラム、ティックトック、ユーチューブなど、複数のSNSが対象となり、16歳未満が新たにアカウントを作れないようにしたり、すでに利用しているアカウントを停止したりすることが、企業に求められます。この法律に違反した場合、企業側には高額な罰金が科されることになります。

この法律が作られた背景には、SNSを通じたいじめや事件が、深刻な社会問題となっていることがあります。世界では、子どもの5人に1人がSNS上でいじめを受けている、というデータもあるそうです。

フランスやドイツでは、子どもがSNSのアカウントを作る際に保護者の同意が必要です。アメリカでも、子どものSNS利用を規制する法律が広がっています。

日本でも、国や多くの自治体で議論が進められています。ある市では、市民のスマートフォンの利用時間を1日2時間までとし、小学生は午後9時まで、中学生以上18歳未満は午後10時までとする条例が作られました。

法律などによる規制も大切ですが、それ以上に、一人ひとりが健康への影響や人との関わり方を考えながら、スマートフォンやSNSと向き合っていくことが必要です。

便利な道具だからこそ、使い方を考える力を身につけなければなりません。